

平成 20 年度
那 霸 市 若 狭 公 民 館
事 業 報 告



Ⅱ 平成20年度若狭公民館事業目次

1 学習風景（写真）	3
2 成人一般対象事業	
〔1〕 市民講座	
◇働くお母さんのための簡単クッキング	4
〔2〕 成人講座	
◇辺野古・高江から沖縄の戦後とこれからを考える	5
◇生活習慣病予防講座	6
3 高齢者対象事業	
〔1〕 高齢者学級	
◇男の料理教室	7
4 青少年対象事業	
〔1〕 少年教室	
◇野外活動に挑戦	8
〔2〕 青年のための講座・交流事業	
◇オリーブ「平和学習のための勉強会」	9
◇ゲンバノコトバArt & Music & Talk	10
◇若狭海浜公園活用大作戦	11
〔3〕 親子ふれあい教室	
◇銅板で面シーサー作り	12
5 家庭教育事業	
〔1〕 乳幼児学級	
◇Happy ママ・クラブ	13
6 その他事業	
〔1〕 地域連携事業	
◇若狭地域文化祭	14
◇年末美化清掃&プラスワン	15
◇新春もちつき会	16
◇ナイトウォーク	17
7 公民館まつり	18

1 学習風景



☆市民講座「働くお母さんのための簡単クッキング」



☆高齢者学級「男の料理教室」



☆少年教室「野外体験に挑戦」



☆成年のための講座・交流事業
「若狭海浜公園活用大作戦」



☆乳幼児学級「Happy ママ・クラブ」



☆地域連携事業「ナイトウォーク」

2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

子育てしながら働くお母さんのための簡単クッキング

趣 旨：食育の大切さ、家庭のコミュニケーションを図る目的として、簡単でアレンジができ、栄養満点の家庭料理を学ぶ。

期 間：平成20年6月28日（土）～7月12日（土）毎週土曜日 全3回

時 間：10:00～13:00

場 所：若狭公民館 実習室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方

受講料：無料（但し材料費3,300円、自己負担）

定 員：15人（受講決定者人数17人）

参加者数：延べ46人

講 師：赤坂恵美子・國場百合子

プログラム：6月28日（和食）、7月5日（中華）、7月12日（洋食）



（受講者の声）

- ・少しの工夫で華やかな料理ができて、感動しました。
- ・「料理のレパートリー」が広がり家族も満足しています。
- ・保育サポートのおかげで、講座に安心して参加できました。子どももお友達と遊んで大満足でした。

（まとめ）

この講座は、子育てしながら働くお母さんが、毎日の調理を楽しむだけでなく、料理をすばやく作るコツを学んで時間にゆとりをもたせ、家族とのコミュニケーションを図る目的で開設しました。

食育の大切さを確認しつつ、バラエティにとんだ料理に挑戦しました。20代から30代の参加者が多く、講座は賑やかに進行しました。

〔2〕 成人講座

辺野古・高江から沖縄の戦後とこれからを考える

趣 旨：戦後63年が経った現在も沖縄県には全国の米軍基地の75%（沖縄本島の20%を占める）が集中しており、米兵による事件が後を立たない。このような状況の下進められる米軍再編について、その実態を知ることによって沖縄の戦後とこれからについて考える。

日 時：平成20年6月21日（土）16:00～18:00

場 所：那覇市若狭公民館 第1研修室

対 象：那覇市内に在住・在勤・在学の方

受講料：無料

定 員：定員30人

受講者数：22人

講 師：真喜志好一（建築家、SACO合意を究明する県民会議代表）



（受講者の声）

- ・ 現状を知ることによって、県民一人ひとりの意識や行動が変わる。大変勉強になりました。
- ・ 慰霊の日にあわせた平和学習で、沖縄戦のことではなく辺野古海上基地や東村のヘリパッド建設など現在の米軍基地再編を取り上げるのは珍しいと思った。
- ・ 真喜志さんの話を聞いて、もっと詳しく知りたいと思った。

（まとめ）

新聞やテレビのニュースでなんとなく知っていた米軍基地再編について、あらためて辺野古や高江の状況について知ることによって、戦争を過去の出来事とするのではなく、今なお続いている現実のものと捉え直すことができたという感想を聞くことができた。

今回の平和学習にあわせて、「HENOKO」（辺野古）をテーマとした美術作品を展示したいという依頼があるなど予想外の反応もあり、受講者は作品を鑑賞しながら平和について思いを巡らせることができた。



生活習慣病予防講座

趣 旨：生活習慣病に関する情報の提供・栄養・運動についての知識を高め、自らの健康について見直すきっかけや健康管理能力を高める。

期 日：平成21年3月14日（土）

時 間：一部 10:00～11:00 ウォーキング（若狭海浜公園の予定が雨天のため若狭公民館ホールで実施）

二部 11:10～13:00 クッキング（若狭公民館実習室）

対 象：20才以上の那覇市在住または在勤・在学者（医師から運動制限の指示がない方）

内 容：①正しいフォームでウォーキング・・・・・・・・・・大城 敦（健康運動指導士）

②しっかり、たっぷり食べてやせようメニュークッキング・・片岡 奈保（管理栄養士）

受講料：無料（但し保険料、材料費800円自己負担）

定 員：15人 受講決定20人

参加者数：19人

室内での運動



クッキング



（受講者の声）

- ・正しい運動（歩き方、ストレッチ、筋トレ）が大変勉強になりました。料理はもう少し時間がほしかったです。
- ・運動は外でやるものだと思っていましたが、時間の無いときや雨降りでも室内で手軽にでき、運動量もあることを知り、毎日の生活にとりいれたいと思います

（まとめ）

当日は雨となり、ホールでの開催となりました。ストレッチ、筋トレ、正しいウォーキングと短い時間でも毎日続ける事が健康の秘訣であることを学びました。

またクッキングでは、500キロカロリー以内で満腹なるメニューに挑戦しました。種類も豊富で量や満腹感もあり、有意義な講座になりました。

3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

「男の料理教室」食べたい物を自分で作ろう！！

趣 旨：家族が出掛けてしまっていたり、病気になってしまったりと自分で食事の準備をしなくてはならない時があると思います。そんな時「だいじょうぶ〇〇〇を作って食べるから！！」と、言えるよう自分自身の健康管理をしながら、心豊に暮らすための生きがい作りのひとつとして、料理を楽しむ。

日 時：平成20年6月7日（土）～21日（土） 全3回 毎週土曜日 10：00～13：00

場 所：那覇市若狭公民館 実習室

対 象：那覇市内に在勤・在住の男性で50歳以上の方

受講料：無料 但し材料費（1回 1,000円程度）は、自己負担

定 員：15人（定員に達し次第締め切り）

受講者数：延べ59人

学習プログラム

		講 師	備 考
第1回目	6月 7日（土）	我那覇 洋子・城間 民子	煮豚丼・味噌汁・酢の物 冷奴
第2回目	14日（土）	我那覇 洋子・城間 民子	鶏のフライパン照り焼き 豆腐チャンプルー
第3回目	21日（土）	我那覇 洋子・城間 民子	海鮮ちらし寿し いなり寿し



（受講者の声）

- ・3回講座でしたが大変楽しく受講できました。またこの様な教室があったら受講したいです。回数を10回程度に増やして欲しい。
- ・講師の先生が、わかり易く丁寧に説明して下さいだったので初めての自分でも良く解った。
- ・若狭公民館での講座は初めてだったが、親切に対応していただき楽しく受講出来ました。ありがとうございました。

（まとめ）

「今回はじめて料理をする」という方がほとんどでしたが、皆さん積極的に取り組んでいました。今回作った料理は、次回までに家で一度は作る事にし、報告をして頂きました。成功した人、失敗した人様々でしたが満足のいく講座だったと思います。機会を作ってまた、行いたいと思います。

5 青少年対象事業

〔1〕 少年教室

野外活動に挑戦！ “石川岳冒険コースと野外炊飯”

趣 旨：野外活動を通し、協調性・自主性を培うと共に、自然とのふれあいの中で、豊かな感性を養う。

日 時：平成20年10月18日（土）～19日（日）（1泊2日）場 所：沖縄県立石川少年自然の家

対 象：那覇市内の小学生4・5・6年生の児童

受講料：無料（但し実費3,000円自己負担）

定 員：男女各10人計20人

参加人数：14人（男子5人、女子9人）

10月18日(土)	10月19日(日)
9:00 若狭公民館集合(結団式)	6:30 起床・洗面・朝の集い
9:15 若狭公民館出発	7:00 朝食
11:00 石川少年自然の家到着(入所式)	7:30 清掃
石川岳登山出発 途中ターザン広場にて昼食	8:30 どんぐり細工
15:00 夕食準備(野外炊飯)	11:30 石川少年自然の家出発
18:00 夕食	12:30 倉敷ダム到着 昼食・ダム見学・自由時間
19:00 入浴	14:30 倉敷ダム出発
20:00 ミーティング	16:00 若狭公民館到着(解団式)
22:00 就寝	16:30 解散



(子ども達の声)

- ・登山がちょっとハードで疲れたけれど、どんぐり拾いは、楽しかった。
- ・登山の時、雨の後だった為に道が滑ってドキドキしましたが、楽しかったです。
- ・どんぐりの落ちているポイントを教えていただき、沢山拾うことが出来て良かった。
- ・火おこしでは、煙が目にしみて痛かったが、おもしろかった。
- ・ご飯を失敗してしまい、芯ができてしまった。硬いところは、どうすいにしておいしく食べました。

(まとめ)

- ・男の子の参加が少なく1グループしか作れませんでした。大学生サポーターと協力して活発に活動ができたところは、良かったと思いました。(年齢に近いせいか、お兄さんと接する感じがたのしそうでした。)
- ・自分たちで集めた材料で作品作りすることで、思い出を形に残すことが出来て良かった。家に帰ってからの話のきっかけになるのではと感じました。
- ・どんぐり細工が早く仕上がったため、倉敷ダムでの時間を多く取れたため、水遊びの時間が出来子ども達は大満足でした。

〔2〕 青年のための講座・交流事業

オリーブ「平和学習のための勉強会」

趣 旨：プロジェクト未来なはの「僕らのアクションプログラム」参加者「オリーブ」のメンバー（高校生）が企画する小学生対象の平和学習をよりよいものにするために、元ひめゆり学徒隊の方々と交流を続け、平和ガイドなどもつとめる「虹の会」のメンバーを講師に平和学習についての勉強会を開催する。

日 時：平成20年9月8日（月）19：00～21：00

場 所：那覇市若狭公民館 第3研修室

対 象：オリーブ（宮城妃名、柴村海唯、志田陽子、新里一貴）、プロジェクト未来なは関係者

受講料：無料

定 員：なし

受講者数：7人

講 師：北上田 源、榎本 真弓（虹の会）



（受講者の声）

- ・ 今の私たちと同じ高校生のときから、戦争体験者との交流を通して戦争を「追体験」し、記憶を「受け」「継ぐ」活動をしていたと聞いて驚いた。
- ・ 学校の平和学習とはちょっと違った平和学習にしたいと思っていたので、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に菓子づくりに挑戦することを考えていました。アットホームな雰囲気での平和学習について共感してもらい自信ができました。
- ・ 自分たちだけで企画している時には気づかなかったことに気がつけてよかったです。

（まとめ）

自発的な校外活動で、小学生を対象とした平和学習に取り組む高校生を支援することを目的に、地域学習支援事業「平和学習のための勉強会」を実施した。その後も、「オリーブ」メンバーの自発性、主体性を尊重しながら、彼ら自身が学べるよう、継続的に側面支援を行った。

その結果、若狭児童館や児童クラブ、虹の会、地域の方々の協力もあり、彼らが企画した平和学習『おじいちゃん、おばあちゃんに学ぶ沖縄戦～60年前にタイムスリップ～』（10月4日、若狭公民館）は無事成功することができた。当日参加した小学生や協力いただいたおばあちゃん達の反応もよく、何よりもオリーブのメンバーが企画立案、実施、振り返りまでの過程を通して成長していく様子がわかり、若者支援の意義を感じた。

今回、オリーブとの関わりを通じて、若者支援は、青年対象の事業を実施するだけではなく、若者が自発的に取り組む活動に対して、情報やネットワークの提供、アドバイスなど小さな支援の積み重ねが大きく実を結ぶことに気がついた。

ゲンバのコトバ ～Art & Music & Talk～

趣 旨：沖縄の抱える課題に対して問題意識を持ち表現活動をしている若いミュージシャンやアーティストのライブおよび作品展示、映像上映を行うと同時に、沖縄の現状と課題、展望についてトークディスカッションする。

日 時：平成20年10月26日（日）17：30～21：00

場 所：那覇市若狭公民館 ホール、3階ロビー

対 象：那覇市在住、在勤、在学の方

受講料：無料

定 員：なし

受講者数：52人

内 容：＜展 示＞ 吉岡千絵、榎本真弓、ワナキオ実行委員会

＜映像上映＞ 比嘉真人、NO FLY ZONE コンサート 2007 実行委員会

＜音楽ライブ＞ カクマクシャカ

＜トークディスカッション＞ 北上田源、與那嶺新、後藤典子、ほか



（受講者の声）

- ・ 社会的な問題をテーマに表現している若いアーティストがたくさん居ることを知り刺激を受けました。
- ・ 今度は泡瀬干潟の話も聞きたいです。映像があると伝わりやすいですね。
- ・ カクマクシャカのライブがかっこよかった。
- ・ 今度はゲンバ（現場）を訪ねましょう。一人で足を運ぶには勇気が必要な場所にみんなで行きたいです。

（まとめ）

元ひめゆり学徒隊の方々との交流によって生まれた言葉にならない想いを表現した絵画作品、辺野古を分断する有刺鉄線とそこに絡まる無数の視点をテーマにしたオブジェ、沖縄大ヘリ墜落事件の記憶を伝承しようと学生たちが企画したライブコンサートのドキュメント映像、米軍北部訓練場変換を条件にヘリパッド建設が計画されている東村・高江の住民たちの記録映像など、沖縄が抱える課題に関して向かい合っている表現を観ることで沖縄の現状と課題、展望について、若者の視点で語り合う場の創出を試みた。

テーマが広く、時間的な制約もあったので深い議論にまではいたらなかったが、県内各地の様々な状況やそこで活動する若者の存在を顕在化させることができ、事業の目的はある程度達成できたように思う。

沖縄大ヘリ墜落事件のことを歌った「民のドミノ」や青森県六ヶ所村の核燃料再処理工場に対してのプロジェクトに賛同して制作した楽曲「無知の知」で知られるカクマクシャカの音楽ライブは大いに盛り上がり、「知ることからはじまる、目を背けないこと」というメッセージは共感を生み、表現のテーマとなったそれぞれのゲンバ（現場）をみたいという意見も多く出た。その声を受け、現場めぐりツアーを計画していたが、日程等の都合で年度内に実現することができなかった。次年度以降実施できるよう検討したい。

若狭海浜公園活用大作戦

趣 旨：地域資源を活用して地域づくりの推進を図ることを目的に、若狭海浜公園の野外イベントづくりを考える。平成19年度青年交流事業から生まれ継続的に実施している「朝食会」参加メンバーを中心に、地域の若者に声をかけ若者の参画を得ながら、野外イベントの事例紹介と若狭海浜公園野外ステージ活用法についてディスカッションする。

日 時：平成21年3月28日（土）8：30～12：30

場 所：那覇市若狭公民館 実習室、和室、若狭海浜公園

対 象：那覇市在住、在勤、在学の方

受講料：無料（ただし、朝食会実費として100円徴収）

定 員：なし

受講者数：12人

内 容：おかず一品持ちよりの朝食会を実施。これまでの青年講座の取り組みを知ってもらうと同時に、アイスブレイクを行う。その後、若狭海浜公園に移動し、野外ステージの活用や、海浜公園でやりたいことなどについての意見を出し合う。

- ・ 8:30～ 実習室にて一品もちより朝食会＋オリエンテーション。趣旨説明と方向性確認。
- ・ 10:00～ 若狭海浜公園へ移動。公園や野外ステージの状況確認と活用法の意見だし。
- ・ 11:00～ 若狭公民館和室に戻り、ワークショップ。スケジュール等具体案作成。



（受講者の声）

- ・ 若狭海浜公園にこのような空間があるとは知らなかった。いろいろ面白いことができそう。
- ・ みんなで一緒に朝食をいただいたことで、和んでざっくばらんに意見交換できてよかったです。
- ・ ここで出てきた意見を実現させて、第二弾、第三弾の企画につなげていきたい。

（まとめ）

前年度の青年交流事業から生まれ、継続的に実施している「朝食会」メンバーの「若狭海浜公園を活用したイベントをしたい！」という提案からこの講座が生まれた。

実際に公園に行き場所を確認することにより、やりたいこと、できることのイメージが膨らみ、様々な意見が出てきた。予算（0円）や時間、公園の利用規約などを考慮しながら実現可能な企画を立てようと、公民館に戻って協議した結果、次年度5月を目処に「100人のだるまさんがころんだ！」を企画・実施することが決定した。講座終了後も定期的に集まり、イベント実施に向け取り組んでいる。

〔２〕 親子ふれあい教室

銅板を使って面シーサー作り

趣 旨：厚さ0.1mm、12.7cm×17.8cmの平面銅板を押して立体にし、シーサー面を作ります。親と子で作品作りを楽しみます。

日 時：平成20年8月3日（日）10:00～13:00

場 所：若狭公民館 第1研修室

対 象：那覇市在住の小学1年生～6年生とその保護者

受講料：無料（但し材料費500円、自己負担）

定 員：15組

申 込：24組（うち受講決定組17組）

参加者数：17組41人

講 師：赤坂恵美子（ギャラリー茶通代表）



（受講者の声）

- ・指が痛いとつぶやきながら、完成品を見て満悦していました。
- ・銅板を使っでの作品作りの機会はないので体験できてとても良かったです。
- ・子どもの図案で作ったので、オリジナルの作品が仕上がってとても嬉しいです。

（まとめ）

普段したことのない銅板での面シーサー作りは、早々と募集定員に達して抽選になり、企画側としては嬉しい悲鳴でした。17組の親子が参加しました。

銅板に図案を貼り付け、ティースプーンやボールペンの先を使って図案の裏や表から押し、悪戦苦闘しながら立体感のある形を作っていました。

なかには、子どもよりも親の方が夢中になっている親子も見られました。

5 家庭教育事業

〔1〕 乳幼児学級

Happyママ・クラブ

趣 旨：新米ママが、子育てをひとりで頑張るのではなく、悩みや気持ちを分かち合う仲間をつくり、ゆとりのある子育てを楽しむことを目的とする。

期 間：9月30日（火）～11月4日（火） 毎週火曜日（全6回）

時 間：10：00～12：00

場 所：若狭公民館 第1研修室、和室、実習室、ホール

対 象：那覇市在住、在勤（生後6ヶ月～3歳の親子）

受講料：無料（但し材料費 1,500円、自己負担）

定 員：15人 受講決定 17組

参加者数：延べ165人

学習プログラム

回数	月日	内容	講師	人数
1	9月30日	シェアリングトーク	真志喜恵里子（円隣企画代表）	18
2	10月 7日	ベリーダンス	石川清子（琉球プリシア代表）	28
3	10月14日	写真の撮り方	丑番直子（フォトグラファー）	26
4	10月21日	救急救命法	奥間智美（ていーだまあみーず）	31
5	10月28日	クッキング（離乳食）	仲島咲恵美（森永乳業・栄養士）	32
6	11月 4日	リトミック	マッセターニ小百合（さゆり音楽教室主宰）	30



（受講者の声）

- ・はじめて乳幼児学級に参加しましたが、とても楽しく、親子参加なので安心して受講できました。感謝です。
- ・今回はたくさんの楽しい講座に参加させて頂きまして有難うございました。全てが面白い内容で勉強になり、とても楽しかった。また参加させてください。

（まとめ）

今回の講座では、子育ての悩みや気持ちを分かち合う仲間を作り、ゆとりのある子育てを楽しむ目的で、6種のメニューを組み合わせってみました。核家族や転入者の方が多く、お母様方は時間を見つけては情報交換をしているようでした。お母様方から若いエネルギーを毎回いただき、新たな気持ちで講座を進めていく事ができました。託児室は、最後まで賑やかでした。

6 その他事業

〔1〕 地域連携事業

第12回若狭地域文化祭

趣 旨：地域住民が関係機関・団体と連携・協力して文化的行事を企画実施することで、高齢者から幼児・児童・生徒まで三世代の交流と地域の連帯意識の強化を図り、地域文化の再認識と新たな文化の掘り起こしにより、青少年の健全育成と豊かで潤いのある地域を創ることを目的とする。

日 時：平成20年11月15日（土） 10：00～17：00

場 所：若狭地域（パレード）、若狭海浜公園（舞台発表）

参加人数：3,000人 主 催：NPO 法人地域サポートわかさ

時間	内 容	場 所
14：00～	バンド演奏、演舞、パレード	若狭海浜公園スタート→若狭中通り→若狭大通り→若狭海浜公園終点
15：00～19：00	バザー（カレー、そば 他）	若狭海浜公園
15：00～19：00	展示発表（若狭町調査の展示）	若狭海浜公園
16：00～20：00	舞台発表（26 演目）	若狭海浜公園
16：00～19：00	健康相談（無料）	若狭海浜公園



（まとめ）

「みんなで創る地域の活力！」をテーマに、第12回若狭地域文化祭が開催された。今年は3年ぶりに若狭公民館から若狭海浜公園に舞台を移し、地域の旗頭、獅子舞をはじめ保育園児、小中学生、地域婦人部、高齢者たちの舞台発表があった。

「地域力の向上」「生涯学習社会の実現」に向けた熱意のある演目に、子どもから高齢者まで多くの方が楽しんだ。

年末美化清掃&プラスワン

クリーン・グリーン・グレイシャス

(「地域サポートわかさ」との連携事業)

趣 旨：若狭地域は、波の上人工ビーチ・若狭海浜公園・若狭公園など、地域住民が生活するには欠かせない場所がたくさんある。住民以外の多くの方にも気持ちよく公共の場を利用していただく為、CGG(クリーン・グリーン・グレイシャス)運動の日に自治会、婦人会、小中高生、PTA関係者を中心に、一丸となって若狭地域にある公園の年末清掃を行なう。またプラスワン活動として豚汁・おにぎりを食べながらの交流会を実施する。

期 日：平成20年12月21日(日)

場 所：若狭海浜公園、若狭公民館

参加者：217人

対 象：小・中・高校生、自治会、婦人会、老人会、PTA関係者、青年会など

プログラム

	時 間	場 所	内 容	人数
1	10:00～11:00	若狭海浜公園	若狭海浜公園、若狭公園の清掃	117
2	11:00～12:00	若狭公民館 (駐車場)	豚汁・おにぎりを食べながらの交流会	100



(まとめ)

自治会、学校その他の団体・個人が参加し、地域でよく利用する若狭海浜公園・若狭公園・旭ヶ丘公園の清掃を実施した。普段、目が届かないところにある飲み物ゴミや粗大ゴミ等を回収・清掃を行なった。

その後、若狭公民館利用団体協議会が豚汁・おにぎりを振る舞い、参加者で交流を深めることができた。

新春もちつき会

趣 旨：地域住民の交流と親睦を深め、豊かな潤いのある地域づくりをはかることを目的とする。

日 時：平成21年1月10日（土）10：00～12：00

場 所：那覇市若狭公民館玄関前

対 象：地域住民すべて

参加費：無料

参加人数：延べ275人

日 程

10：00 オープニング ① あゆみ保育園 子ども獅子舞・マーチング

②若狭ちむどんどん太鼓 遊び庭・風の結人

③波っ子獅子舞

開会のあいさつ・・・・・・・・・・地域サポートわかさ 理事長 早川 忠光

激励のことば・・・・・・・・・・若狭小学校 校長 崎浜 順子

館長あいさつ及びつき始め式・・・・若狭公民館 館長 宮城 潤

10：30 つき始め



(参加者の声)

- ・つきたてのおもちは、温かくておいしかった。
- ・つきたてのおもちを食べる機会は、めったにないのでとても良かった。
- ・子ども達にもちつきを体験させることが出来て良かった。
- ・おもちがとてもおいしかった。

(まとめ)

今年は、もちの量を5キロ増やしたので充分いただく事が出来た。また参加人数も例年以上で、良いもちつき会を催す事が出来たと感じた。次年度は、マイ食器持参という事でエコを視野に入れて行いたい。

第14回ナイトウォーク

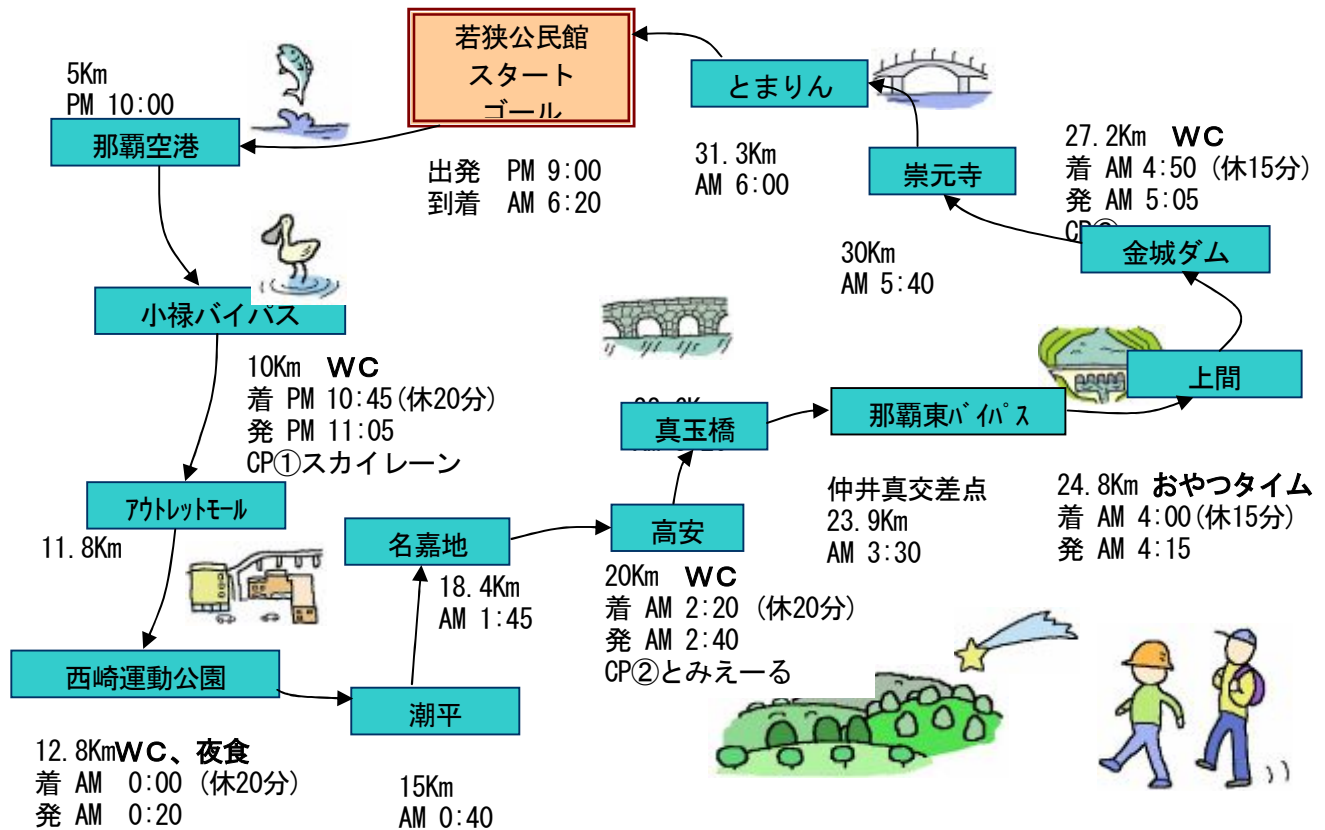
趣 旨：中学生が、非日常的な体験の中でお互いに励まし合い、助け合いながらゴールを目指すことにより
連帯感・達成感・充実感を共有し、友情を深め困難に立ち向かう気力を培うことを目的とする。

日 時：平成21年3月28日（土）19：30集合～29日（日）7：30解散

対 象：那覇中学校及び上之山中学校の生徒

参加費：1,000 円（夜食代・朝食代・おやつ代・保険料その他実費）

募集人数：定員50名 参加人数：50名 スタッフ33名（職員を含む） コース：32キロ



（受講者の声より）

- ・ 疲れたけど楽しかった。ありがとうございました。来年は、もう少し距離を短くして欲しい。
- ・ 歩くペースが早くて、付いて行くのが大変だった。もっとゆっくり歩きたい。
- ・ チェックポイントの数を増やして欲しい。
- ・ とても楽しかったです。来年も参加したいです。

（まとめ）

今年は、3年生優先にせず中学生全般に呼びかけたところ、早い時期から反応があり60名の申し込みがあった。また準備段階から中学生を話し合いに入れた事も、生徒の集まり具合に大きな影響があったと思う。

先頭を歩くグループのペースを管理することが難しく、途中最後尾との差ができてしまった。次年度は、細かいペース配分を地図上に記入したい。



7 公民館まつり

第17回若狭公民館まつり

趣 旨：若狭公民館を利用し活動している団体（サークル）の日頃の活動成果を発表・展示することにより、団体の学習活動継続への刺激を与える。また、公民館まつりをとおし、団体（サークル）相互の連携を深める。若狭及び周辺地域を巻き込んだ「地域まつり」的な性格をもつまつりをしたい。

期 間：平成21年2月21日（土）、22日（日）、28日（土）

会 場：若狭公民館 参加人数：延べ 3,408人

主 催：若狭公民館利用団体連絡協議会

共 催：若狭公民館、若狭図書館、NPO法人地域サポートわかさ

内 容	時 間	会 場	参加人員
オープニング	21 日(土)13:00～13:40	公民館前道路	200
バザー	21 日(土)13:40～16:00	玄関	150
ベリーダンスチャレンジ講習会	21 日(土)14:00～16:00	ホール	60
親子で作ろう♪お菓子の家	21 日(土)14:00～	和室	78
音楽演奏の夕べ	21 日(土)18:00～20:00	ホール	150
展示発表	21 日(土)10:00～17:00 22 日(日)10:00～16:00	研修室	800
舞台発表	22 日(日)11:00～16:00	ホール	1100
健康相談コーナー	22 日(日)11:00～16:00	2 階ロビー	70
呈茶コーナー	22 日(日)13:00～15:00	3 階ロビー	100
出店コーナー	22 日(日)11:00～15:00	玄関	300
喫茶コーナー	22 日(日)11:00～16:00	2 階ロビー	250
社交ダンスパーティー	28 日(土)18:30～21:00	ホール	150



(まとめ)

第17回若狭公民館まつりは、若狭公民館利用団体協議会（59団体）が中心となって舞台発表、展示発表、運営などを行った。初めての取り組みとして、プレイベントの「ベリーダンスチャレンジ講習会」を実施し、多くの方が参加し好評を得た。ホールでの展示発表では多彩な演目があり、観客が入れ替わりで入場し華やかなまつりとなった。

公民館まつり風景



オープニング（ちむどんどん太鼓）



オープニング（波之上宮獅子舞保存会）



バザー



ベリーダンスチャレンジ講習会



親子で作ろう♪お菓子の家（若狭図書館）



音楽演奏の夕べ



カチャーシー教室



呈 茶



舞台発表



舞台発表



展示発表



社交ダンスパーティ